

2009年3月期 第3四半期決算説明資料

2009年2月2日
株式会社IHI

2009年3月期 第3四半期累計連結決算の概要



(億円)

	当 第3四半期累計 (12/'08)	前 第3四半期累計 (12/'07)	増 減
受 注 高	8,244	10,984	▲2,740
売 上 高	9,325	8,588	737
営 業 利 益	6	▲475	481
経 常 利 益	▲103	▲550	447
税金等調整前 四半期(当期)純利益	▲243	219	▲463
四半期(当期)純利益	▲245	112	▲357

当第3四半期累計の特別損益(▲140億円)の内訳

固定資産売却益	37億円
貸倒引当金繰入額	▲135億円
事業再編損失	▲20億円
金融商品取引法違反に係る損失	▲15億円
その他	▲7億円

対前年同期 損益増減要因分析

◆営業損益の増減要因	(481億円)
・売上高の変動	91億円
・為替の変動	▲208億円
・資機材価格の高騰	▲127億円
・会計基準変更	▲37億円
・工事採算の変動	818億円
・販売費・一般管理費の変動	▲55億円

◆営業外損益の増減要因	(▲34億円)
・金融収支	3億円
・持分法による投資損益	10億円
・為替差損益	▲35億円
・その他	▲12億円

◆特別損益の増減要因	(▲910億円)
・固定資産売却益	▲759億円
・貸倒引当金繰入	▲135億円
・事業再編損失	▲20億円
・金融商品取引法違反に係る損失	▲15億円
・その他	19億円

セグメント別 連結決算の概要

IHI

(億円)

	売上高		営業利益	
	当 第3四半期 累計(12/'08)	対前年同期比 増減	当 第3四半期 累計(12/'08)	対前年同期比 増減
物流・鉄構事業	1,184	89	▲39	▲5
機械事業	1,600	246	95	0
エネルギー・プラント事業	2,750	399	▲137	618
航空・宇宙事業	2,090	9	74	▲81
船舶・海洋事業	1,233	223	▲37	▲43
不動産事業	124	63	37	12
その他事業	1,059	▲228	23	▲6
消去又は全社	▲716	▲65	▲9	▲12
合計	9,325	737	6	481

第三四半期累計営業利益の 対前年同期増減要因(セグメント別)

(億円)

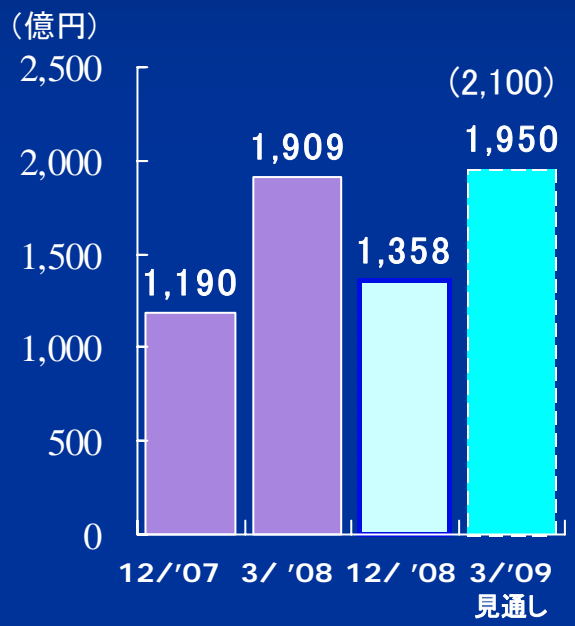
	売上高変動	為替変動	資機材 価格高騰	会計基準 変更	工事採算 変動	販管費 変動	合計
物流・鉄構事業	10	0	▲12	▲6	18	▲15	▲5
機械事業	8	▲4	▲8	▲4	11	▲3	0
エネルギー・ プラント事業	63	▲87	▲23	▲15	693	▲12	618
航空・宇宙事業	0	▲36	▲25	▲5	▲2	▲14	▲81
船舶・海洋事業	2	▲76	▲51	▲1	93	▲11	▲43
不動産事業	16	0	0	▲1	0	▲3	12
その他事業	▲8	▲5	▲8	▲5	16	4	▲6
消去又は全社	-	-	-	-	▲11	▲1	▲12
合計	91	▲208	▲127	▲37	818	▲55	481

各要因別の数値の合計と、合計欄の数値は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

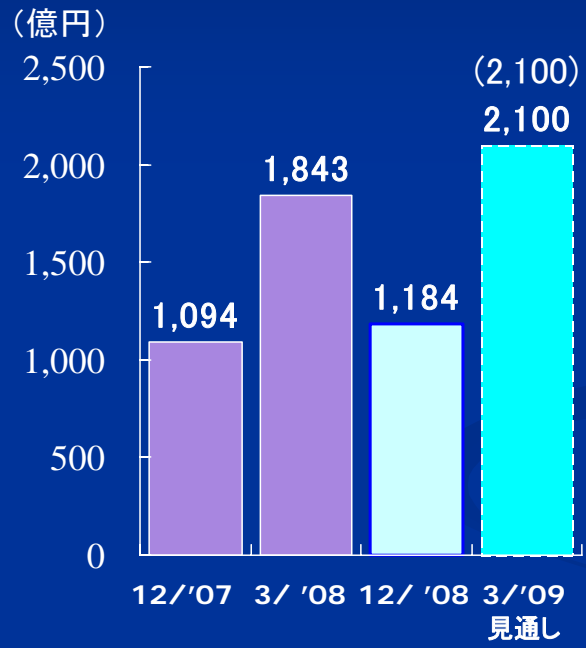
物流・鉄構事業

運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 橋梁, 交通システム, コンクリート製品, 掘進機, その他

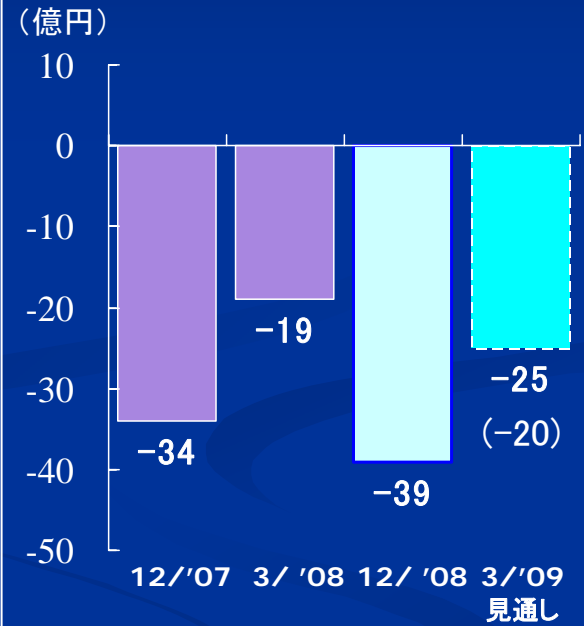
受注高



売上高



営業利益



<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 鉄構, 鋼製橋梁, 油機
 減少: コンクリート製品, 運搬機

<対前第3四半期 増減内訳>

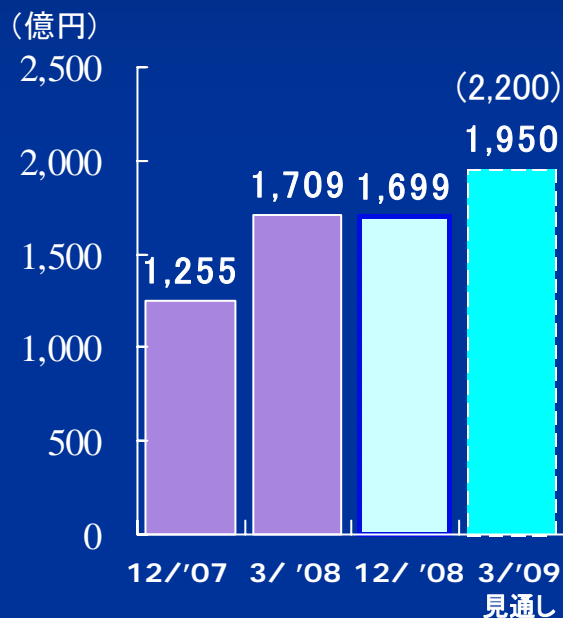
増加: 油機, 交通システム
 減少: 物流システム, 鉄構, コンクリート製品

()は前回見通し

機械事業

圧延機, 工業炉, 風水力機械, 製紙機械, 汎用機械, 車両過給機, その他

受注高

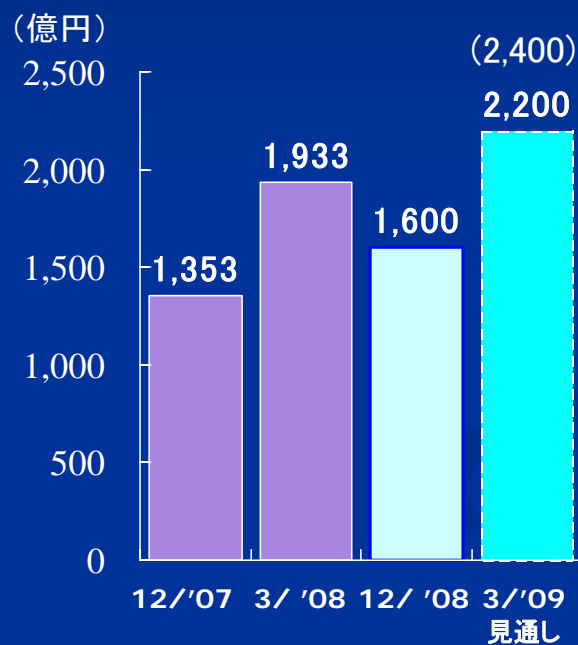


<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 工業炉

減少: 製紙機械, 圧延機

売上高

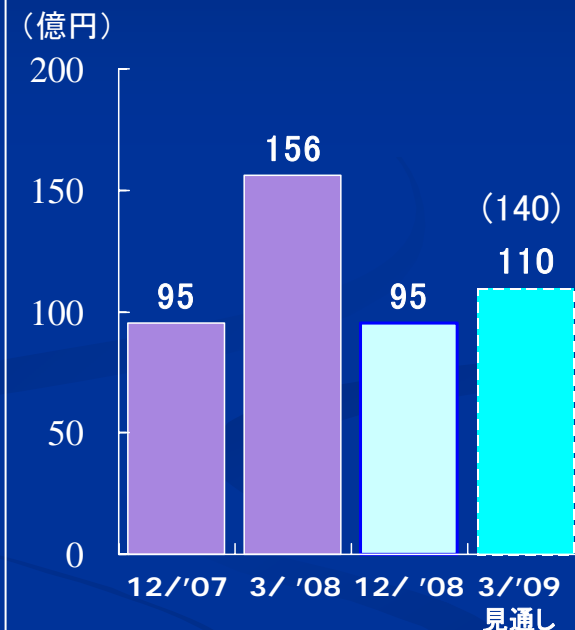


<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 工業炉, 回転機械, 製紙機械
圧延機

減少: カレンダー

営業利益

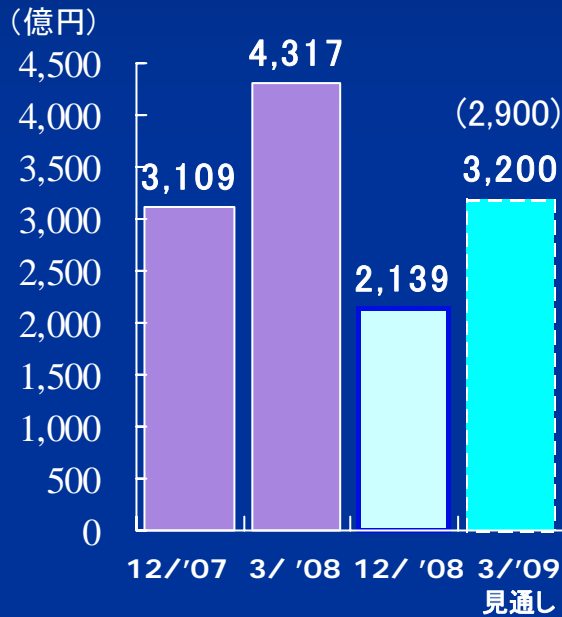


()は前回見通し

エネルギー・プラント事業

ボイラ, 原子力機器, 化学機械, 貯蔵設備, 環境装置, 原動機, その他

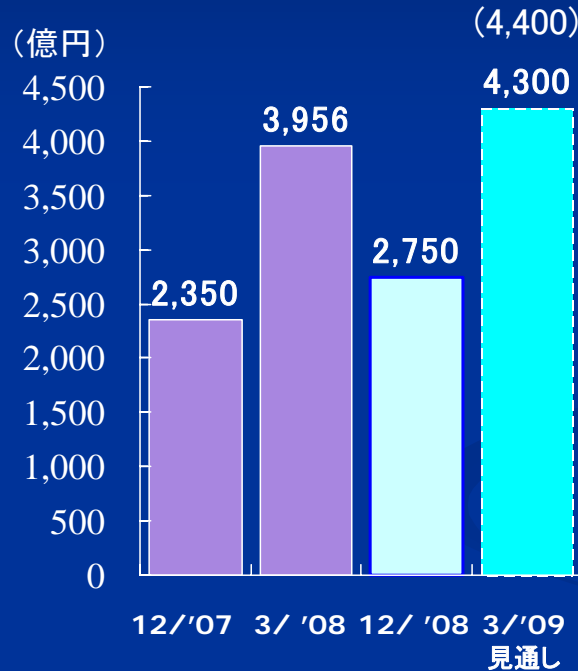
受注高



<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 原子力, 貯蔵設備
減少: 化学機械, 原動機

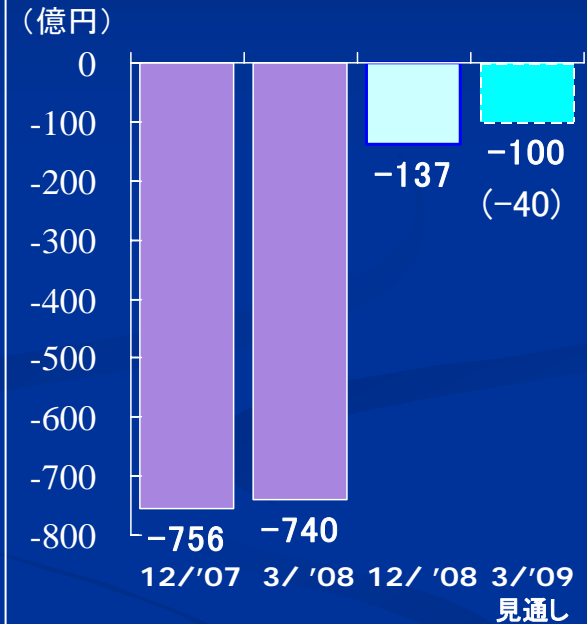
売上高



<対前第3四半期 増減内訳>

増加: ボイラ, 化学機械, 貯蔵設備
原動機, 原子力

営業利益

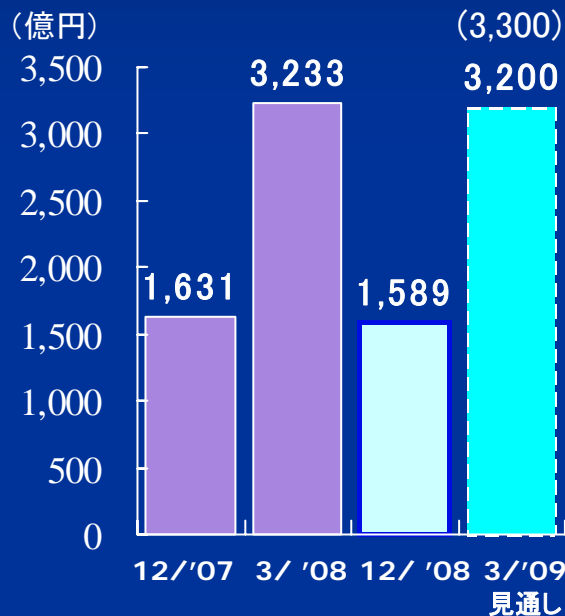


()は前回見通し

航空・宇宙事業

航空エンジン, 宇宙開発関連機器, その他

受注高

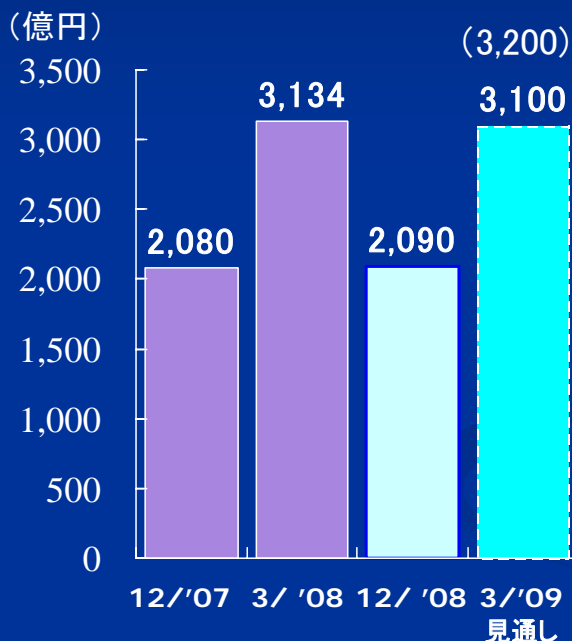


<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 民間向けエンジン

減少: 防衛省向けエンジン

売上高

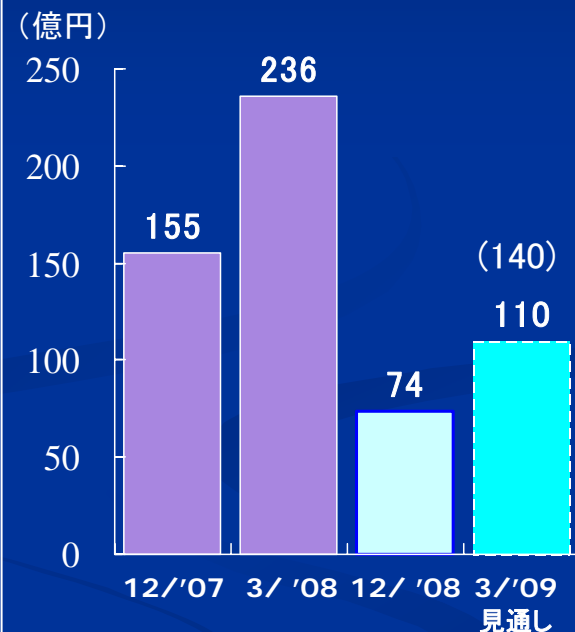


<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 防衛省向けエンジン
民間向けエンジン

減少: 宇宙開発関連機器

営業利益

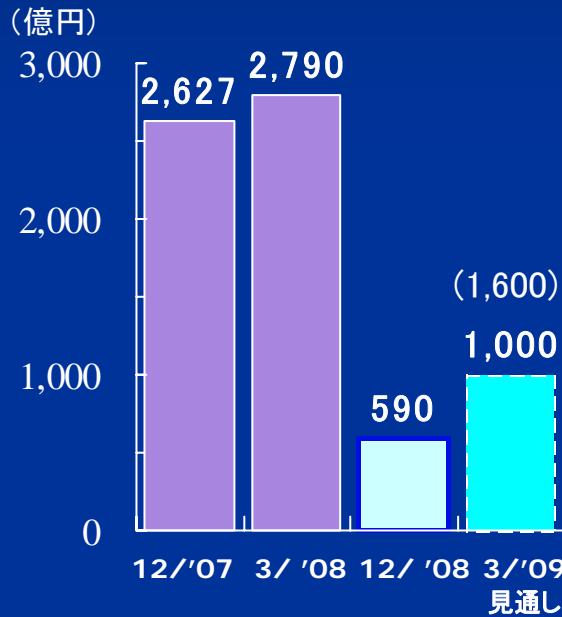


()は前回見通し

船舶・海洋事業

新造船, 修理船, 海洋構造物, その他

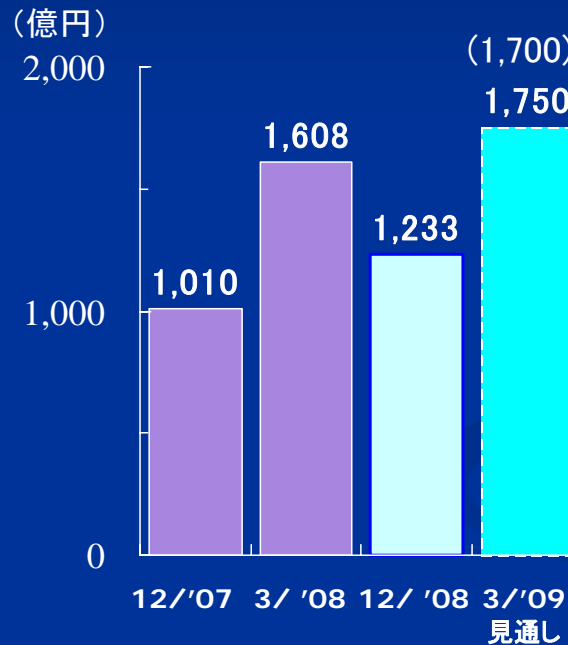
受注高



<対前第3四半期 増減内訳>

減少: 新造船
 新造船受注 4隻(前年同期は30隻)
 バルクキャリア 3隻 その他 1隻

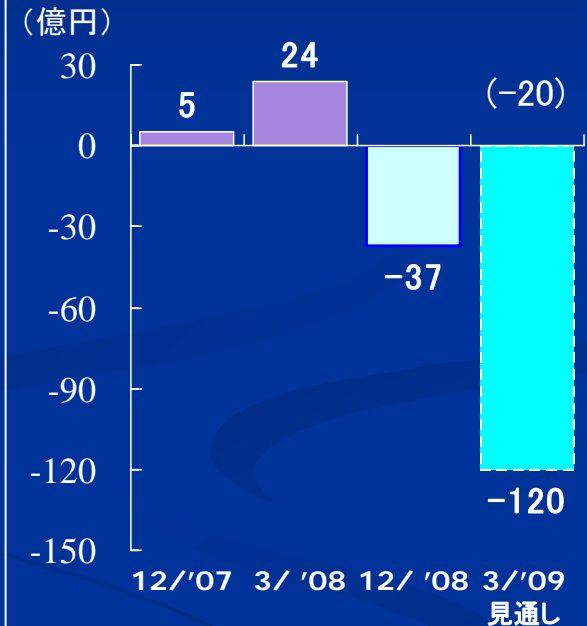
売上高



<対前第3四半期 増減内訳>

増加: 新造船
 新造船売上 12隻(前年同期は8隻)
 コンテナ船 2隻 VLCC 2隻 バルクキャリア 7隻 その他 1隻
 減少: 修理船

営業利益

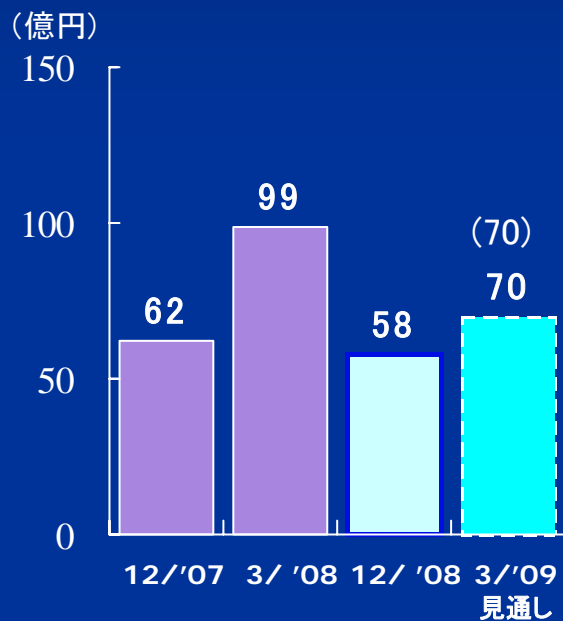


()は前回見直し

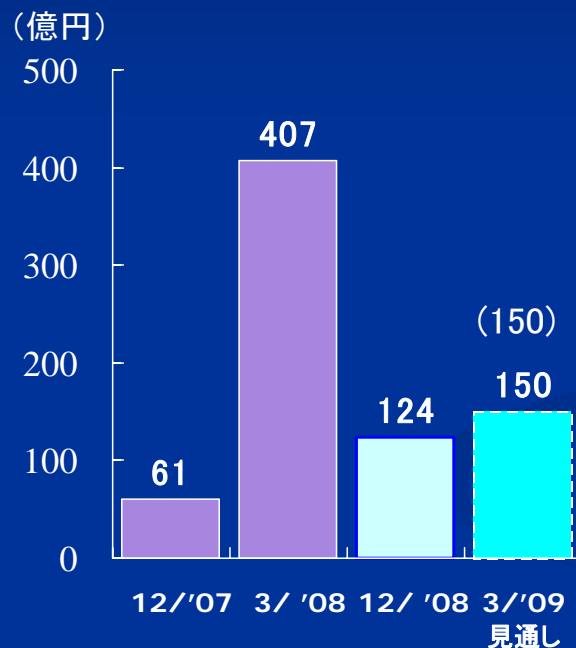
不動産事業

不動産分譲, 賃貸, その他

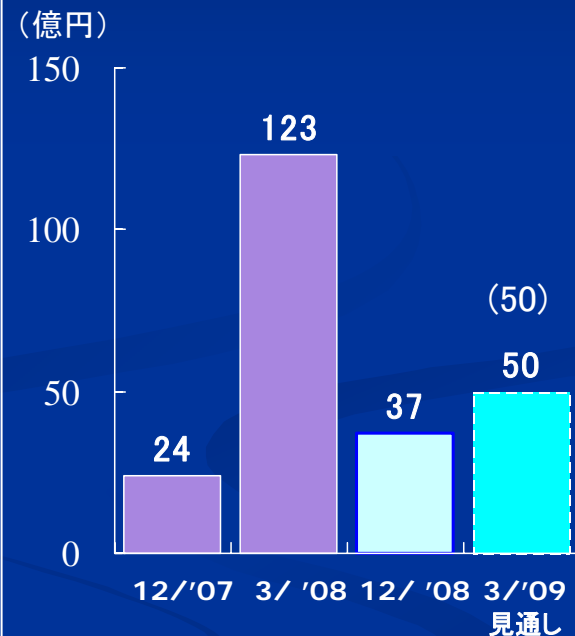
受注高



売上高



営業利益



<対前第3四半期 増減内訳>

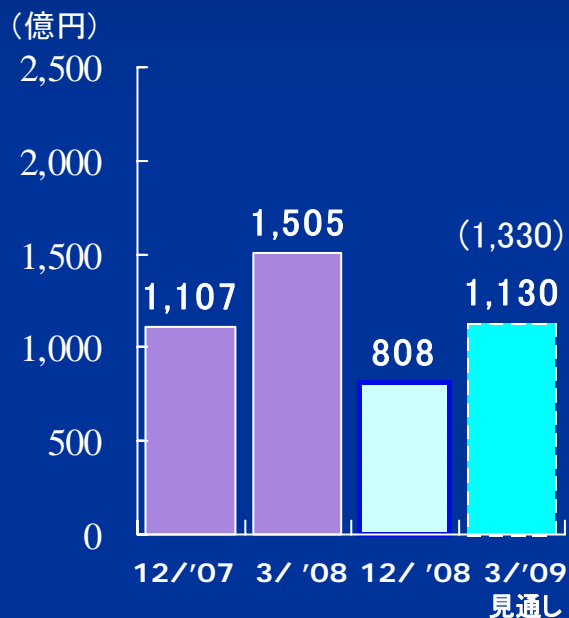
増加: マンション分譲

()は前回見通し

その他事業

船用ディーゼル, 建設機械, 農業機械, サービス, その他

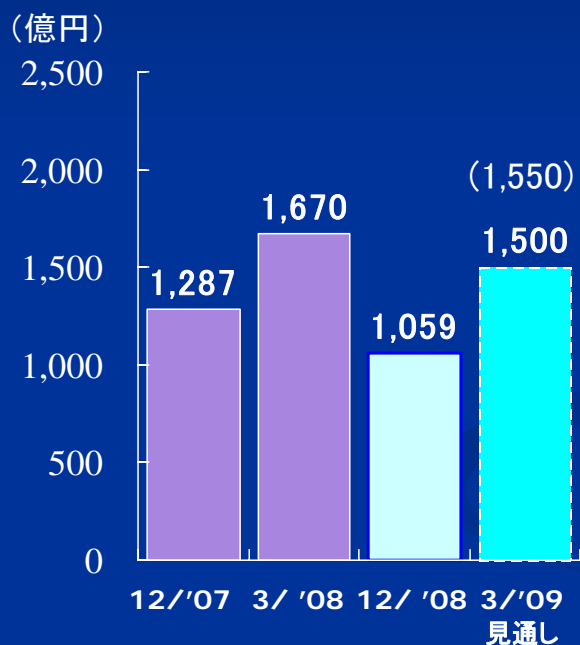
受注高



<対前第3四半期 増減内訳>

減少: ディーゼル, 農業機械,
建設機械

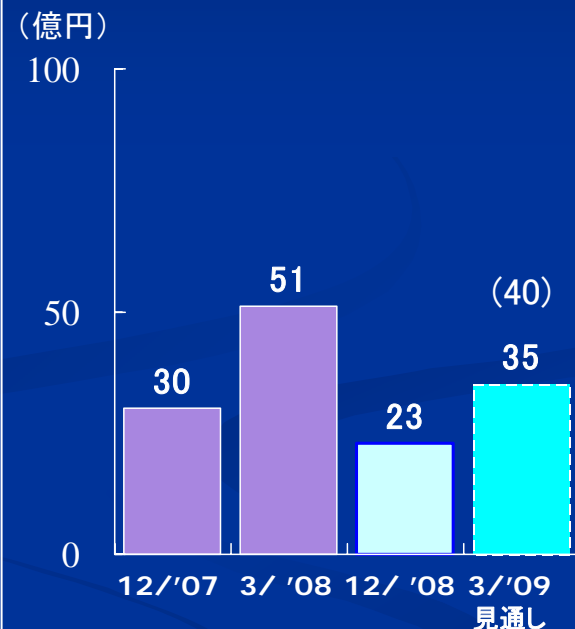
売上高



<対前第3四半期 増減内訳>

減少: 農業機械, 建設機械

営業利益



()は前回見直し

セグメント別 連結業績の見通し

IHI

(億円)

	売上高		営業利益	
	今回の見通し (3/'09)	対 前回見通し 増減	今回の見通し (3/'09)	対 前回見通し 増減
物流・鉄構事業	2,100	—	▲25	▲5
機械事業	2,200	▲200	110	▲30
エネルギー・プラント事業	4,300	▲100	▲100	▲60
航空・宇宙事業	3,100	▲100	110	▲30
船舶・海洋事業	1,750	50	▲120	▲100
不動産事業	150	—	50	—
その他事業	1,500	▲50	35	▲5
消去又は全社	▲1,100	—	0	—
合計	14,000	▲400	60	▲230

20年度見通し営業利益の対中間見通し増減要因 (セグメント別)

(億円)

	売上高変動	為替変動	景気後退による 影響	その他の採算 変動	合計
物流・鉄構事業	-	-	-	▲5	▲5
機械事業	-	▲2	▲28	-	▲30
エネルギー・ プラント事業	25	▲45	-	▲40	▲60
航空・宇宙事業	-	▲20	▲10	-	▲30
船舶・海洋事業	-	▲110	-	10	▲100
不動産事業	-	-	-	-	-
その他事業	-	▲3	▲12	10	▲5
消去又は全社	-	-	-	-	-
合計	25	▲180	▲50	▲25	▲230

各要因別の数値の合計と、合計欄の数値は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

2009年3月期 通期連結業績見通し

IHI

前提為替レート
 米ドル 前回 100円 今回 90円
 ユーロ 前回 140円 今回 120円
 豪ドル 前回 75円 今回 60円

(億円)

	前回の見通し (3/'09) A	今回の見通し (3/'09) B	前期実績 (3/'08)	増減 B-A
受注高	13,500	12,500	15,565	0
売上高	14,400	14,000	13,505	▲400
営業利益	290	60	▲168	▲230
経常利益	180	▲100	▲308	▲280
税引前当期純利益	160	▲150	467	▲310
当期純利益	80	▲250	251	▲330

今回の見通しの特別損益の内訳:

固定資産売却益	37億円
貸倒引当金繰入	▲135億円
金融商品取引法違反に係る損失	▲15億円
その他	63億円

業績改善対策

円高・景気低迷に対応する緊急対策

- 人件費, 設備投資, その他諸費用の圧縮
- 調達市況改善の早期取り込みによるコストダウン
- グローバル受注活動の展開(アジア, 米州に注力)
- メンテナンス, 部品事業拡大など需要の掘り起こし
- 為替変動リスク対策の強化
- 生産部門間の機動的調整による操業維持と雇用確保

業績改善対策

事業体質強化対策の継続・強化

- 円建・複数通貨建受注の拡大
- 海外調達比率, 海外生産比率拡大
- 生産機能の強化と再編
- エンジニアリング能力の強化
- 組織の簡素化・スリム化
- 不採算事業・ノンコア事業の整理

業績改善対策

事業構造転換策検討の加速

- 為替変動や景気変動の影響を受けにくく、競争力が高い事業ポートフォリオに向けての検討を加速

⇒次期経営計画に盛り込み

Explore the Engineering Edge

IHI

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。